

裁判員等経験者の意見交換会 開催概要

(令和5年11月29日開催 福島地方裁判所郡山支部)

令和3年9月～令和5年6月の間に郡山支部で
裁判員・補充裁判員を経験された7名の皆様

法曹出席者 竹田 美波（福島地方裁判所郡山支部判事補）
四 竈 庸 祐（福島地方検察庁郡山支部検事）
山 内 崇 史（福島県弁護士会所属弁護士）
司 会 者 小野寺健太（福島地方裁判所郡山支部判事）



裁判員等を経験した、全体的な感想を教えてください。

- 刑事裁判は他人事だったが、経験してからは、関心を持ってニュースを見るようになるなど日常生活にも良い影響があった。
- 責任を重く感じたが、将来のためにもいい経験になるだろうと考えて参加した。裁判官や裁判所の職員が親切・丁寧で、安心して参加できた。
- 専門的な知識がなくても、裁判官や他の裁判員の配慮で問題なく評議に参加できた。人が人を裁くことについて、一般人目線の率直な意見が必要なのだと思う。気にしすぎることなく参加してよい制度なのだと感じた。
- よい経験だった。経験後、担当裁判官をニュースで見た時に親近感を感じた。
- 自分が裁判員等に出られることはないだろうと思っていた。凄惨な写真などを見せられることが一番不安だったが、そういうことはなく、裁判官からも証拠の内容について配慮していると聞いた。裁判員等の経験を通じて、若いうちから様々な価値観の人と話し合う体験をすることが大切だと感じた。
- 貴重な体験ができる喜びもあった。密度の濃い評議ができたので良かったと感じた。
- 裁判所から手紙が来たとき、日常にない機会なのでせっかくならやってみようと考えて参加した。身近な人からは「原告？被告？」などと言われて、裁判員制度がまだ広まっていないと感じた。

裁判員等の負担感について教えてください。また、リフレッシュするために、どんなことをなさっていましたか。

- 帰宅後は、裁判のことを考えないようにした。趣味などで頭のスイッチを切り替えてリフレッシュした。
- 自宅から裁判所が遠く、1日置きにホテルに宿泊した。評議で色々考えて発言したので、頭も体も働かせているなという感覚であったが、ホテル近くの公園を散歩をしたり、寝たりしていやした。
- 初対面の裁判官や裁判員と対話するため、最初は負担感を感じたが、評議が進むにつれて、いい意味での仲間意識のようなものが生まれ、負担感を感じなくなった。ストレス対策は、特に何もなかった。
- 審理期間が短く、裁判所までの距離も近かったので、負担はなかった。普段と変わらない生活を送ることができた。
- 評議で場を和ませるような発言をするようにしていたので、煮詰まった感覚はなかった。有意義な時間が過ごせたと思う。

裁判員等として裁判に参加したことをどのように周囲の人に伝えましたか。

- 裁判員等選ばれたことを、家族や職場の同僚・上司に話した。家族には、裁判が終わってから、感想も共有した。
- 子どもが通う学校で「裁判員制度に関する出前講義」を裁判所が実施した際に、私も講師として参加した。皆、興味を持って聞いてくれた。裁判員等の経験者は、自身の経験を積極的に発信することが大切だと思う。

裁判所が行っている「裁判員制度に関する出前講義」について、ご感想などをお聞かせください。

- 近所の人に裁判員としての経験を話したところ、「経験者に初めて会った」と言われた。経験談を伝えていかないと、制度の理解が広まりづらいと思う。関係機関と協力して裁判員経験者の座談会を行うとか、裁判員制度に関する作文を生徒から募集する等の工夫をしてみるのはいかがでしょうか。
- 「司法」「裁判」という言葉には、ハードルが高い、分かりづらいというイメージがある。裁判官が色々な場所に赴いて裁判制度や裁判所が身近な存在なのだと伝えることは良いことだと思う。また、経験者としても、自身の裁判員等としての経験を話したい人は多いのではないかなと思う。

これから裁判員等になる方（特に、18歳、19歳の方）にメッセージをお願いします。

- しっかりした意見を言わなければと感じてしまうかもしれないが、18歳、19歳の立場から感じたことを伝えるようにすれば乗り越えられると思う。他の裁判員や裁判官の意見を聴くこともでき、いい経験になる。考えすぎずに参加してほしい。
- 同じ事件に関してでも、人によって見方が違う。積極的に参加してほしい。
- 初めは、自分とは違う意見を受け入れがたかったが、「どうしてそう感じるのか」を考えるようになった。皆で1つの結果を作る大切さを感じた。判決に多様な意見を取り入れるためにも、若い人の率直な意見が大切だと思う。ぜひ参加してほしい。法律について不安があれば、裁判官が説明してくれる。
- 裁判官や他の裁判員等と1つのチームのような感覚で和気あいあいと話ができた。法壇から裁判を見る機会も、なかなか得られないものだ。有意義な機会を得たと考えてほしい。若い人にも参加してほしい。
- 参加することは学びに繋がるとは感じるが、大変に感じる可能性もあると思う。しかし、裁判官が体調を気に掛けてくれるので、自分の状況を正直に伝えることが大切だと思う。
- 参加すると、判決に至る経緯にも興味が湧く。雰囲気を知るために、裁判傍聴をしてみても良いと思う。いい経験になるので、ぜひ参加してほしい。
- 人と違うことを言っても、裁判官や他の裁判員等の方に拾ってもらえる。積極的に参加してほしい。

